

じどうし えんぶ かい こぞだ おうえんだん  
**児童支援部会は、子育ての応援団です**

地元ボランティアの大先輩ママ(▽▽)たちが応援しています。  
 小学校入学前の乳幼児が楽しく過ごせるよう工夫していますので見に来てね! (参加料無料)

**「子育て広場」**



水分持参を  
お勧めします

2020年度年間計画

4月9日	シール帳を作ろう・新聞シャワー
5月14日	ミニ運動会
6月11日	ジャガイモ掘り (前月に要予約)
7月9日	親子でヨガを楽しもう
9月10日	幼児の歯みがきレッスン
10月8日	幼児の救急法
11月5日	バス遠足 (前月に要予約) ※第1木曜
12月10日	クリスマス会
2月11日	子育てフェスタ
3月11日	お楽しみ会

\*時間: 10:00~  
 \*場所: ちはら台コミュニティセンター2F 会議室  
 \*利用料無料 就学前の乳幼児対象 0歳~  
 (6月は実費がかかります)

**「広場のびのび」**



◎実施日◎

4月6日・20日	10月5日・19日
5月18日	11月2日・16日
6月1日・15日	12月7日・21日
7月6日・20日	1月18日
8月3日	2月1日・15日
9月7日	3月1日・15日

\*時間: 10:00~11:30  
 \*場所: ちはら台コミュニティセンター2F 会議室  
 \*利用料無料 就学前の乳幼児対象

**「すまいる」**



「すまいる」は現在、  
開催場所等を調整中です。



<2019年度ちはら台地区社協への賛助会費ご協力ありがとうございます>

宇都宮 啓様 黒川 明美様 高槻 幸子様 高橋 日出雄様  
 広瀬 晃様 広瀬 キクエ様 町田 芳昭様 町田 英子様

<ちはら台福祉バザーへのご協力ありがとうございました>  
 今年度バザーの収益金は6万6620円となりました。

<秋の演奏会で台風被害義援金ご協力ありがとうございました>  
 この演奏会で義援金の合計は2万3350円となりました。



ちはら台地区社会福祉協議会 広報誌

**かずさのみち**



【発行】ちはら台地区社会福祉協議会 〒290-0142 市原市ちはら台南 6-1-4 電話 (Fax) 0436-37-1326

**市津地区への災害支援ボランティア活動に参加**



令和元年台風15号、19号、10月25日の大雨と度重なる災害の被害に  
 遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

ちはら台地区社協は、台風19号の竜巻で甚大被害を受けた近隣の市津地区への  
 災害支援ボランティア活動に参加しました。

特別に開設された市原市災害ボランティアセンター市津サテライトで受付をし、  
 午前9時~午後3時の間、被害を受けた住宅のガレキの片づけが主な内容で、  
 航空自衛隊の大型トラックにガレキを運びました。自衛隊のトラックの荷台が  
 思いのほか高く積み上げるのに苦労いたしました。

これからもボランティアや募金活動で地域皆が互いに助け合っていきましょう。

ちはら台地区社会福祉協議会 会長 齊尾 誠浩



2019年10月12日台風19号市津地区の竜巻災害 ちはら台有志の応援

どれも怖かったですね...災害のときの行動を家族で話しておきましょう



2019年10月25日  
大雨時

ちはら台卯月公園南側遊歩道



2019年9月9日  
台風15号被害

浜野



2019年9月9日  
台風15号被害

ちはら台南住宅街

# ボランティアできる人と、

市原市社会福祉協議会の  
＜活動の紹介＞

ちはら台福祉は、  
地元ボランティアだけでなく  
市の社会福祉協議会の若い職員  
のかたも活躍しています。  
昨年の災害について、  
ちはら台地区担当 長田翼さんに  
災害対応の様子についてお話を  
うかがいました。



# 被災して困っている人を

質問1. 昨年の9月、10月と千葉県に来た台風・大雨の時にどのような対応をされたのですか？  
長田翼さん 以下N) 発生当初は、ちはら台の被害状況を関係団体のかたや地元の皆さんに見回って頂き、ちはら台の状況を把握するよう努めました。市原市社会福祉協議会では「市原市災害ボランティアセンター」を開設、その中で私は「マッチング班」を担当。  
“被災され困っているひと”と“ボランティア活動できるひと”をつなぐ仕事です。

台風19号の竜巻被害が甚大だった隣の市津地区では、「サテライト災害ボランティアセンター」を市津地区の皆さんに立ち上げてもらいました。  
ちはら台住民のかたもボランティアにご協力頂きました。



# つなぐ仕事

質問2. ボランティアは、どのくらい参加されましたか？

N) 災害ボランティアセンターで受付したひとは、1,772名です。  
リピートして支援活動を行ってくださったボランティアも多く、派遣人数としては延べ2,676名になります。市内外を問わず、県外からも個人・団体と多くのかたにご協力頂きました。

質問3. 難しかった点や感想があれば教えてください。

N) 市原市社会福祉協議会では、＜災害ボランティアセンター立ち上げ訓練＞を年に1回実施していましたが、実際の立ち上げは初めてで苦労しました。被災され困っているかたの安全はもちろんですが、多数のボランティアの皆さんが安全に活動できるよう毎晩、打ち合わせをしました。  
隣接の市津地区の竜巻被害の際は、ちはら台地区社協の斉尾会長より「地区社協としてなにか手伝える事はないだろうか」と率先して声をかけて頂き心強かったです。  
たくさんの皆様にボランティア活動にご協力頂きありがとうございました。



# ちはら台福祉のつどいを開催しました！

地元の福祉がどうなっているか、これからどう暮らしていけばよいか、知る機会です。



千葉労災病院 小沢義典先生による講演会  
テーマ「認知症の治療・予防・準備」



1階調理室にて 介護食の試食会  
市原産健康梨酢の試飲会



2階大会議室にて 車いす展示  
ぜひ、実物を見て！



2階大会議室にて各種相談コーナー



中学生ボランティアも事前に  
打ち合わせしました。



体育室にて...中学生スタッフが丁寧に  
昔あそびを伝授しました。

昨年11月17日ちはら台コミュニティセンターにて「ちはら台福祉のつどい」を開催しました。地域の多くの皆様にお集まり頂き、オープニング式典後、「認知症の治療・予防・準備」のタイトルで千葉労災病院認知症疾患医療センター長の小沢義典先生による講演会を開催しました。  
身近なテーマとして、わかりやすい内容のお話で参加者からの感想にも関心の高さが伺われました。  
続いて子供たち対象に「あそぼう！つくろう！ふれあおう！」をテーマに、いはらシルバー友の会とちはら台南中学校、西中学校のボランティアの生徒による「昔あそび体験教室」を体育室にて開催。小学生や幼児に竹馬・けん玉・コマ回し等を手ほどきし、世代間交流が楽しく繰り広げられました。  
2階大会議室の会場では、地域の介護・医療・福祉のプロたちによる展示、相談コーナーを開設し、来場された方のお困り事や健康管理について相談に応じました。